＜海外短期特別研修：IITB-Tohoku Global Immersion Program 募集要項＞

I. 概要

IITB-Tohoku Global Immersion Program (IT-GIP) は、本学学生がそれぞれの専門性を活かし、IITB における研修活動の実践により専門教育を基盤とした研究の社会実装化、異文化理解の深化、国際教養力の涵養、アントレプレナーマインドセットの醸成など、海外留学やグローバル社会で活動するうえで必要となる素養の修得を目的として実施するものです。

1. 実施プログラム詳細

実施場所	インド工科大学ボンベイ校（IITB）（インド・ムンバイ）
プログラム名	インドの最先端科学・産業に迫る
実施期間	2026 年 3 月 8 日（日）～3 月 14 日（土）（現地５泊）
プログラムテーマ	・インドでの研修並びに IITB 学生との知的・文化的交流を通じて、世界的に困難な時期にあってもグローバル社会を牽引する素養を身につける ・インドの最高学府である IITB での研修を通じて、IITB と本学が実施するより長期の学生交流及びダブルディグリープログラム参加の素地を形成する
プログラム概要	インドの最高学府であり、世界有数の研究大学である IITB の教授陣による災害科学、交通、ロボット工学、ヘルスケア等の IITB-東北大学が重要視する研究分野を中心とするトピックに関するセミナーや研究施設訪問、IITB のキャンパスツアー、IITB 学生との知的・文化的交流と各種文化体験等を通して、本学学生が世界的な規模の災害や危機に際しても、力強くグローバル社会を牽引する素養を修得することを目的とする。また、世界トップレベルの大学の活気や異文化・インドの歴史を直に感じると共に、インドの最先端の科学・産業に迫る修学体験を通して IITB と本学が実施する博士レベルダブルディグリープログラム（以下「IITB_DD プログラム」という。）をはじめとする海外大学への長期留学や、本学の国際共同大学院進学への機運を高め、グローバル人材として国際社会に貢献するためのさらなる研鑽に励む機会を創出する。 ※セミナーのトピックは変更となる場合有り ※詳細は決定し次第グローバルラーニングセンターウェブサイトで公開
対象	学部 3～6 年生、博士課程（前期・後期）の学生 ※正規生のみ対象。分野は問わないが、選考にあたっては、以下の IITB_DD プログラム関連分野の研究を行う学生を優先します。 ［最優先分野］①災害科学、②ロボット工学、③交通、④ヘルスケア ［優先分野］⑤AI ＆ ML、⑥エネルギー、⑦材料科学、⑧量子科学、⑨半導体、⑩環境 ※応募資格・要件については、「II. 応募条件」を参照のこと。 ※TGL プログラムのグローバルリーダー認定者等のこれまでの経歴等も考慮します。
定員	10 名
滞在先形態	IITB キャンパス内宿泊施設
参加費用	【IITB 及び東北大学負担】 ・受講料 ・往復の航空券（集合・解散場所～研修地） ・ムンバイ空港～IITB 間の送迎 ・研修地での宿泊費（宿泊施設で提供される食事を含む）

	【参加者負担】 ・上記以外の費用は参加者が負担（例：パスポート申請、ビザ申請、集合・解散場所まで／からの移動、海外旅行保険、提供される食事以外の食費、出入国手続きなどに係る費用等） ※集合・解散場所は成田空港を予定しています。 ※利用する航空便の運行時間によっては、成田空港周辺等での前泊・後泊が必要となる場合があります。その場合の費用は参加者負担となります。
科目	IT-GIP は本学の全学教育科目「海外短期研修（展開 A）」（1 単位）として実施されます。所定の成績を修めた学生には 1 単位が付与されます。 ※2021 年度（令和 3 年度）以前入学者は、科目名を読み替えてください。

2. 実施スケジュール

内 容	日 時	備考
応募期限	1 月 6 日（火）午前 9:00	
選考結果発表	1 月中旬（予定）	学務情報システムより連絡
IITB への登録	1 月下旬（予定）	所定のオンラインフォームから申請者の基本情報を登録し Curriculum Vitae (CV)をアップロード ※詳細は「V. 注意事項」の４点目を参照してください。
危機管理研修	2 月 3 日（火）18:30-19:15	
事前研修 I	2 月 6 日（金）10:00-15:00（予定）	MEET India への参加／企業関係者とのセミナー
事前研修 II	3 月 3 日（火）16:00~17:30	
プログラム実施	3 月 8 日（日）～3 月 1４日（土）	・利用する航空便の運行時間によっては、前泊・後泊が必要となる場合有り ・左記日程は、渡航にかかる期間を含む
事後報告会	4 月上旬（予定）	

II. 応募条件

1. 応募資格

以下の全ての要件を満たす者

・本学の正規生

・応募時点で学部 3 年生～6 年生、博士課程（前期・後期）の学生

・2025 年度後期を通じ本学における在籍身分が「在学」である者

・英語による講義の受講及びディスカッションが可能な英語力を有する者

・2026 年 4 月 1 日以降も本学に在籍する者。

2. 応募要件

以下全ての条件を満たすこと。

①申請時に学生教育研究災害傷害保険（学研災）に加入済みまたは加入手続きを済ませていること。

②申請時に有効期間満了日が 2026 年 9 月 30 日以降のパスポートを有すること。
③プログラム参加（インド渡航）にあたり、必要なビザを取得し得ること。
※ビザ申請に際しパスポートを一定期間在日インド大使館に預ける必要がありました。（2024 年度実績）
④プログラム参加に支障のある健康上の問題、懸念事項がないこと。
⑤渡航時までに日本国および渡航先国が出入国者に定める要件をすべて満たせること。
⑥誓約書兼承諾書の内容に記載された全ての事項を理解し、同意していること。

III.応募期限

応募期限：　2026 年 1 月 6 日（火）午前 9：00

IV.応募方法

1.　応募方法

応募フォームに必要情報を入力し、下記 2 に記載の応募書類を指定されたファイル形式で提出（アップロード）してください。

応募フォーム

2.　応募書類と提出方法

以下 3 点を上記 1 の応募フォームから所定の形式（PDF ファイル）により提出（アップロード）してください。

(1) 成績証明書

本学入学以来の成績証明書のスキャンデータ（PDF ファイル）を提出
※他大学から本学に編入した場合は、本学編入時からの成績証明書を提出してください。

(2) パスポートの写し

パスポート所有者の氏名の記載や顔写真があるページのスキャンデータ（PDF ファイル）を提出

(3) 誓約書兼承諾書

所定のウェブサイトから「海外短期特別研修誓約書兼承諾書」をダウンロードし、全ての事項を理解し同意した上で、応募者本人及び保護者等の直筆署名を行い、スキャンデータ（PDF ファイル）を提出

V. 注意事項

以下の内容を必ず読み、理解した上で応募してください。

- 募集要項及び Q&A を全てよく読み、理解した上で応募してください。
- 選考結果の通知は、2026 年 1 月中旬頃に学務情報システムのお知らせから連絡します。
- 選考結果発表後の辞退は原則として認められません。事前研修及び移動日を含む現地研修のすべてに参加できることを確認した上で応募してください。また、所属学部・研究科等の追試験・再試験期間、その他の予定等と重なっている場合は応募できません。
- 学内選考に合格した場合、研修参加者の皆さんには、所定の時期（2026 年 1 月下旬を予定）までに IITB が指定するオンラインフォームから自身の基本情報を登録いただくと共に Curriculum Vitae（CV）（英語版）を提出（アップロード）していただきます。応募者は、必要に応じ予め CV を提出できるよう準備を進めてください。
- 危機管理上の理由から、プログラムへの途中参加や一部参加は如何なる理由であっても一切認められません。追試験や再試験等であっても認められませんので、必ず事前に本学における試験日程等を確認してください。
- 選考結果についての申し立てや、不採用理由の説明を求めることはできません。

- 今後の世界情勢や感染症拡大等の状況を鑑み、大学の判断によりプログラムが中止・中断となる場合があります。
- プログラムには、現地研修に加え、事前研修・事後報告会の参加、報告書作成や各種提出物の準備が含まれます。本プログラムへの参加にあたっては、これらの研修等全てに参加し、与えられた課題を提出することが義務付けられます。
- 本プログラム参加にあたり、受講料、所定の往復の航空券費用、派遣先での宿泊費用は IITB 又は本学が負担しますが、それ以外の費用は参加者の負担となります。
- ビザ申請については、本学が指定する旅行代理店にビザ申請の代行を依頼する予定です。ビザ申請代行サービス費用は、参加者の負担となります。
- 本プログラムに参加決定後に事前・事後研修、事後報告会を許可無く欠席したり、必要書類の提出を怠ったり、現地研修期間中に団体行動を逸脱する行為及び禁止事項に該当する行為が見られた場合には、往復の航空券及び派遣先での宿泊費用等の請求を行う可能性があります。
- 本プログラムへの参加が決定した場合、参加者全員が大学指定の海外旅行保険である「付帯海学」への加入が義務付けられます。付帯海学へ加入するためには、学生教育研究災害障害保険(学研災)に加入済みである必要があります。学研災に未加入の場合は、応募前に学生支援課生活支援係(川内北キャンパス)で加入手続きを行った上で応募してください。
  学研災:https://www.tohoku.ac.jp/japanese/studentinfo/studentlife/11/studentlife1101/
- 付帯海学への加入方法は、参加決定後に案内します。
- 本プログラム参加に伴う海外渡航にあたっては、所属学部・研究科による承認が必要となる場合があります。所属学部・研究科にその認否を確認のうえ応募してください。
- 本プログラム期間中、所定の滞在先以外での宿泊（外泊）および滞在国以外への渡航は認められません。
- 本プログラム申請時にパスポートの顔写真ページのコピー等の提出が必要となります。**パスポートを取得済みの場合も、有効期間満了日が 2026 年 9 月 30 日以降となっていることを確認してください。**
  また、体調不良等により、当初の予定どおり帰国できない場合等を考慮のうえ、研修参加に必要な有効期間が十分あることを確認し、必要に応じて応募前に切替申請を行ってください。
  ※国籍が日本以外の場合は、必要となるパスポート残存期間が異なる場合があります。
- 合格者決定後、直ちに本プログラム参加者の航空券等を手配します。合格発表後に参加を辞退する場合や体調不良等により参加できない場合は、航空券等に関する取消手数料等の支払いが必要となる場合があります。その場合の取消手数料等は参加者の負担となります。

VI. 問い合わせ

教育・学生支援部留学生課 海外留学係
電話：022-795-7820（8:30～17:00（土日祝日・年末年始の休業期間を除く））
Email：sab_query@grp.tohoku.ac.jp